

東京都臨床工学技士会 第19回・定例総会併設

第16回・学術大会

テーマ：臨床工学技士の未来をつかむために

平成20年度・学術大会の一部詳細が決定しました。(今後も決定次第、順次広報いたします)

日時：2008年4月27日(日) 11:00～17:30

(大会に先立ち、10:00より、第19回定例総会が行われます。会員の方はご参加ください)

場所：東京女子医科大学 弥生記念講堂

参加費：会員...2,000円、非会員...3,000円、学生...1,000円

～プログラム～

- 11:05～12:05 一般演題〔 〕(ME・呼吸・循環関係) [募集要項は次ページへ](#)
- 12:20～13:00 ランチョンセミナー (共催：フクダ電子株式会社)
「新しい医療機器管理システム(MARIS)について」
講師：磯野 由香里先生 (フクダ電子(株) IT事業部)
約30分・入れ替え、休憩
- 13:30～14:30 都民公開講座
「からだと酸素～人体での酸素の働き方：運動と病気と～」
講師：諏訪 邦夫先生 (元帝京大学教授)
- 14:30～15:30 一般演題〔 〕(代謝・設備その他) [募集要項は次ページへ](#)
- 15:40～17:30 パネルディスカッション
「医療機器安全管理責任者 施行1年後に振り返る」
パネラー：未定なるも、現在各方面に依頼中
臨床工学技士のみならず、行政関係、他職種の方にもお話ししていただく予定です
(最大延長：17:45まで)

なお、大会終了後、18:00頃より懇親会を予定しております。こちら是非ご参加いただき、この機会に“横のつながり”をもっていただきたいと思います。(参加費無料)

第16回学術大会・一般演題募集要項

例年のごとく、東京都臨床工学技士会学術大会では、一般演題を広く募集しております。本発表会は、「若手の登龍門」と位置づけ、今後多くの学会や研究会などで発表してみたい、発表しなくてはならないが、「ちゃんとできるか不安だな」などと思っている方々が、その予行演習、度胸付けといった意味合いで参加していただくことを主目的としております。

ですから、以前どこかで発表したもの、共同演者が作ったものでもかまいません。(もちろん、ご本人の承諾を得ているものに限りです)

この機会に、是非チャレンジしてください!

応募資格: 特にありません。会員をはじめとする臨床工学技士、学生さん、メーカーの方々など、どなたでもかまいません(ただし、応募多数の場合は会員を優先します)

内容: 特に問いません。臨床工学技士4大業務(呼吸・循環・代謝・ME)に加え、小さな工夫、施設や製品の紹介(ただし、宣伝のみはNG)、危機管理など、臨床工学部門に関連するものであれば何でもOKです。

発表内容: 全て口演による発表となります。1演題、質疑応答を含めて10分以内。スライドは10枚以内。すべて会場内に設置のPC(ウインドウズXPフォーマット)にてご発表いただきます(スライドプロジェクタ、OHPの準備はありません)。また、メディアについては、CD-ROMまたはUSBメモリにてお願いします(フロッピーディスクの使用はできません)。あらかじめご了承ください

応募締切: 平成20年(2008年)3月5日(水)午後3時

応募方法: 演題名、発表者名(共同演者も含む。また、発表者には をつけ、ふりがなをふってください)、発表者の所属、100字程度の要旨(当日配布のプログラムに印刷します)、連絡先(メールおよび電話連絡先の双方)、会員の方は会員番号を明記の上、以下の応募先まで、必ずメールにてお願いいたします。

応募先: VEM16221@nifty.com(メール環境がない場合のみ、郵送にて受付けます)

〒158-8531 (住所不要) 関東中央病院 医療機器管理室 仲尾次 政隆 宛

問合せ先: 同上 電話 03-3429-1171(代) 内線: 5128

若手に限らず、ベテランの方、メーカーの方、まだ臨床工学技士になっていない学生の方の発表も大歓迎します。

立派な発表でなくてもかまいません。むしろ、『失敗は成功の基』をキーワードに、ここでの経験を次に生かしていただければ、本会の目的は成功です。

皆さん!ふるってご応募ください。スタッフ一同、お待ちしております!!